

# 研究業績等一覧

令和 年 月 日現在

氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

1. 原著論文  
欧文〇〇編（うち単著又は筆頭者〇〇編）  
和文〇〇編（           〃           〇〇編）
2. 総説  
欧文〇〇編（           〃           〇〇編）  
和文〇〇編（           〃           〇〇編）
3. 著書  
    欧文                   計〇〇冊（うち単著又は筆頭者〇〇冊）  
    和文                   〇〇冊（うち単著又は筆頭者〇〇冊）  
    和文                   〇〇冊（           〃           〇〇冊）
4. その他  
    欧文〇〇編（           〃           〇〇編）  
    和文〇〇編（           〃           〇〇編）
5. 学会発表（招待講演等）   計〇〇回（うち筆頭者〇〇回）  
    国際学会  
        特別講演・教育講演   〇〇回  
        シンポジウム           〇〇回（うち筆頭者〇〇回）  
        パネルディスカッション、ワークショップ   〇〇回（うち筆頭者〇〇回）  
    国内学会  
        特別講演・教育講演   〇〇回  
        シンポジウム           〇〇回（うち筆頭者〇〇回）  
        パネルディスカッション、ワークショップ   〇〇回（うち筆頭者〇〇回）
6. 学会賞等の受賞（学会名、受賞対象研究課題、受賞年）
7. 競争的資金の獲得状況（過去5年間）  
    研究代表者   〇〇課題（交付合計額〇〇千円）  
    研究分担者   〇〇課題（交付合計額〇〇千円）
8. その他（特許等の取得）

(記載例)

## 研 究 業 績

(原著論文)

[欧文]

1. Kenei T, Eiyō J: A new assessment method for energy expenditure in obese adults. *Int J Clin Nutr* 60:99-105, 2007

[和文]

1. 栄養次郎, 健栄太郎, 運動三郎:軽度肥満者における食行動とエネルギー消費量との関連 日本応用栄養学会誌 10:40-51, 2009

(著書)

[欧文]

1. Kenei T: Nutritional assessment for obese adults, pp 220-235, *In Current Nutrition Therapy* (Sato A, James Weds) Health & Nutrition Press, London, 2006

[和文]

1. 栄養次郎, 健栄太郎:生活習慣病予防のための栄養教育の課題, pp10-18, 食生活・運動と長寿 (運動三郎, 戸山四郎編) ○○出版, 東京, 2008

(学会発表;招待講演等)

[国際学会]

シンポジウム

1. Kenei T, Eiyō J: Physical activity and energy expenditure in obese men. The 76th International Congress of Nutrition and Physical activity, Bangkok, 2006

[国内学会]

特別講演・教育講演

1. 健栄太郎, 栄養次郎:生活習慣病予防のためのテーラーメイド栄養指導について. 第 55 回日本○○学会シンポジウム: 栄養学研究の最前線, 京都, 2008

(学会賞)

1. 日本○○学会奨励賞:軽度肥満者におけるエネルギー消費に関する研究, 2001

(競争的研究資金の獲得状況;過去5年間)

[研究代表者]

1. 平成 20 年度文部省科学研究費(基盤B): 栄養療法に関する研究; 11,000 千円 [28,000 千円]

[研究分担者]

1. 平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金食品科学推進研究事業:健康食品の生理作用に関する研究(主任研究者 運動三郎); 3,000 千円

## 記載上の注意

記載例を参照してA4用紙に記載してください。

### (学術論文、著書)

- 1) 欧文・和文の別に、年代順に記載して下さい。共著の場合は、本人のところにアンダーラインをつけて下さい。
- 2) 学位論文に◎印、代表論文(10 編)には○印をつけて下さい。
- 3) 印刷中のものについては掲載証明書を添付して下さい。

### (学会発表)

- 1) 学会からの招待による発表についてのみを記載して下さい。
- 2) 国際学会、国内学会の別に、特別講演・教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション・ワークショップの区分で、それぞれ年代順に記載して下さい。
- 3) 発表者は全員を記載し、本人のところにはアンダーラインをつけて下さい。

### (競争的研究資金の獲得状況)

- 1) 記載時の年度も含めて最近5カ年の実績を記載してください。
- 2) 研究代表者、研究分担者の別に、年代順に記載してください。
- 3) 研究年が複数年の場合には、各年度に分けて記載してください。
- 4) 当該年度の研究費の額を記載(千円単位)して下さい。なお、研究代表者としての研究費獲得金額(研究班全体として)を[ ]内に付記してください。